

田口伸一 鹿嶋市長2期就任インタビュー

広告

企画・制作 建設未来通信社広告部



「リソース革命」と「未来投資」
明るく心豊かに暮らせるまちを実現

鹿嶋市 田口 伸一 市長に聞く

1期目の4年間を振り返って
1期目は大変厳しい財政状況からのスタートだったが「先人の貯金に頼らない」「将来に負担を残さない」「市民サービスは維持する」という方針のもと、行財政改革を断行して、数字にも成果が現れており、基金の2倍増や、プライマリーバランスの3年連続黒字化を達成し、将来に投資できる財政基盤を構築できた。

鹿行南部道路に期待大

鹿嶋市の将来のために体力を付けること。これからは明るい未来への投資を着実に進める。
2期目は「リソース革命」と「未来投資」を2つの大きな柱として進める。40年間続く人口減少という現実を正面から向き合い、「スマート&コンパクト」な都市づくりを推進する。

具体的には、AIの活用による市役所業務のスマート化、インフラや教育施設の統廃合などを進める。例えば、10年後、20年後に職員数が3分の2に減少したとしても、市民サービスの持続可能な行財政体制を整える。

学校跡地については、原則解体して更地化する。利活用策のひとつとして、CO2を出さない電源拠点をつくり地域で活用してもらうことも考えている。「明るく、心豊かに暮らせるまち 鹿嶋」の実現に向け、私の政治信条である

新スタジアム周辺開発へ意欲

なく、太陽光や風力などの他の新エネルギーもミックスしている。鹿嶋港周辺での洋上風力発電の整備に向けて、協議会を設立し漁業者とのコミュニケーションをとっている。先進地の視察を通じ、漁業と新エネルギーの共生を図る下地づくりを進めてきた。

計画が進む鹿行南部道路への期待は非常に大きい。陸の孤島とも言われる鹿行地域の観光面や、交流人口・人流の拡大、物流の効率化という相乗効果を狙いたい。

さらに淡水と海水を有し港湾内で物流が完結している鹿嶋港に国内の高速道路網が直結することで、新たな港の活用、新たな産業の創出が期待される。

現在、国による地質調査や地盤調査などの慎重な精査が進められている。早期の計画段階で入りを要望していった。

交通渋滞対策のため、国道51号バイパスの新神宮橋、宮中橋は4車線化が必要であると考えているので早期実現を要望している。また、都市計画道路宮中佐田線は現計画区間の早期完成を県に要望することにも、東側への延伸についても県と協議していった。

水道については財政状況を考慮しながら優先順位を設定し、整備や維持管理に努める。

水道については、市街化区域内はおおむね整備が完了している。現在は27年4月の供開始に向け新配水場の整備を進めている。28年度には県との経営統合を予定している。

下水道事業については汚水管、雨水排水管ともに計画的な施設更新が重要な課題。雨水幹線については全

プロフィール
田口伸一(たぐち しんいち)
1968年(昭和43年)4月4日生まれ。58歳。専修大学経営学部経営学科卒。県議会議員を経て2022年から現職。最近の趣味は英語の勉強で「日本語を学びたい」と海外の方と、日本語と英語を混ぜながら会話している。英語だけでなく日本語について改めて気づかせてくれることも多く、大変勉強になる」とのこと。座右の銘は「積小為大」。

国特別重点調査を25年度に実施した。調査の結果、破損等が104カ所確認された。対策延長755mについて26年度の工事着手を目指す。
建設業界へのメッセージ
日ごろ本市のインフラ整備や災害対応など、市政の各般にわたり多大なる尽力をいただき感謝申し上げます。建設業の皆さまは市民の安全な暮らしを支える「地域の守り手」であり、まちづくりに欠かせないパートナーでもあります。皆さまの培ってきた高い技術と責任感に鹿嶋市の発展を支える原動力となる。近年は資材価格の高騰や担い手不足など厳しい課題に直面されておられることは承知している。市としては、建設業の皆さまが安心して事業に取り組める環境整備や適切な予定価格の設定など持続可能な産業発展に向けた支援に全力を尽くしてまいります。活力ある鹿嶋とともに創り上げたいことを、公平な参入機会を確保しつつ、地域を支える願っています。

客観的な基準に基づいた適正な競争を担保することが大原則だが、同時に公共工事には地域の安全を支えるという側面もある。自然災害や緊急時に迅速な対応が求められる際、地域に根差した事業者の持つ

知見や機動力は市民の安心を守る大きな力となる。こうした地域の安全を支える力が損なわれないよう、適正な工期設定や価格での契約など、健全な経営環境に努めることも行政の役割と考える。公平な参入機会を確保しつつ、地域を支える願っています。

市内のインフラ整備について
交通渋滞対策のため、国道51号バイパスの新神宮橋、宮中橋は4車線化が必要であると考えているので早期実現を要望している。また、都市計画道路宮中佐田線は現計画区間の早期完成を県に要望することにも、東側への延伸についても県と協議していった。

水道については財政状況を考慮しながら優先順位を設定し、整備や維持管理に努める。

水道については、市街化区域内はおおむね整備が完了している。現在は27年4月の供開始に向け新配水場の整備を進めている。28年度には県との経営統合を予定している。

下水道事業については汚水管、雨水排水管ともに計画的な施設更新が重要な課題。雨水幹線については全



新サッカースタジアム建設へ茨城県と鹿嶋市が協力

社会資本整備を通して、鹿嶋市のさらなる発展に尽力します

鹿嶋市建設業協同組合

- 会津建設(株) 秋元設備工業(株) (有)アサヒ塗装 石津産業(株) (株)泉建工 (有)大槻土建 小川建設(株) (有)小沢重機興業 (株)小堤工業 小沼建設(株) (株)小沼工務店
- (株)鹿島ガーデン 鹿島庭園(株) (有)勝久建設 加藤建設(株) (有)久保組 (株)郡司建設 佐々木工務店(株) 三光建設(株) サンワ興業(株) 大海工業(株) 大地
- (株)大平工業 高木工業(株) (株)高野臨海商事 (株)高正建設 (株)辻田造園建設 (株)富山園建設 (株)トムラ (株)中川建設 (株)中山設備工業(株) (株)根本工務店 常陸建設(株)
- 常陸緑化土木(株) (株)飛田工務店 日比谷殖産(株) 日向寺工業 フジテック(有) (株)ミドリヤ鹿嶋支店 (株)村上工務店 (株)谷田川工務店 (株)ヨシケン (株)和城産業 全43社

鹿嶋市指定管工事業協同組合

- 〒314-0022 茨城県鹿嶋市長柄1879-372 電話 0299-82-0950 FAX 0299-82-5399
- 秋元設備工業(株) 鹿嶋工アテック(株) (株)小堤工業 (有)ナカヤ設備工業
- 辻田設備工業(株) (株)ダイセツ (有)須賀田設備工業 (有)生井澤設備工業
- 三杭配管工業(株) (株)トムラ 栗山設備工業 (有)出頭ポンプ店
- ミナト工業 組合数 13社

鹿嶋市緑化協議会

- 〒314-0025 鹿嶋市下埜886-3 電話 0299-82-9097 FAX 0299-83-6501
- 会長 辻田正一
- (株)鹿島ガーデン (株)辻田造園建設 日比谷殖産(株) (株)ミドリヤ 鹿島庭園(株) (株)富山園建設 常陸緑化土木(株) 会員数 7社